

ニュースリリース

## グロービス経営大学院、2024年度日本語MBAプログラム入学式を開催 「テクノロジーMBA」「エグゼクティブMBA」、2つのトラックを2024年度より始動

グロービス経営大学院(東京都千代田区、学長:堀義人)は3月31日(日)、2024年度日本語MBAプログラム入学式をにて開催しました。入学者数は全国のキャンパスを合わせて977名となりました。

また、2025年度の「テクノロジー\*1MBA(TMBA)」と「エグゼクティブMBA(EMBA)」の2つのプログラム開講に先駆けて、2024年度4月の日本語MBAプログラム入学期より、東京校とオンライン校において「TMBA」と「EMBA」の2つのトラック\*2を設け、これからの時代に必要な新しい学びの体系を始動いたします。

\*1:テクノロジーとイノベーションを組み合わせた造語

\*2:2024年度は共通プログラムで、入学時に2つのトラックから選択。それぞれのトラックでは、各プログラムの一部の科目が先行提供される



堀義人学長の式辞

学長の堀義人は式辞で「2006年にはわずか78名だった入学生は今や日英合わせて1,000名を超え、『創造と変革の志士』たる卒業生8,700名以上を社会に送り出してきました。グロービスは、規模の面でも、評価の面でも、日本No.1の経営大学院になりました。各人が、『可能性を信じる』志を打ちたて、自らの能力を研鑽し、人的ネットワークを駆使すれば、多くのことが実現できると信じています」と述べました。

入学式当日の様子:<https://mba.globis.ac.jp/news/detail-23951.html>

## 入学者数の成長と学生の多様性の増加

2006年開学当初、78名だった大学院本科入学者数は、2024年4月にはパートタイム&オンラインMBAプログラム(日本語)で977名に達し、在校生・卒業生は合計1万人を超え、日本最大のビジネススクール\*3に成長を遂げました。

\*3参考: 文部科学省「令和5年度専門職大学院一覧」

近年では、医師や弁護士などの専門資格職、エンジニアやデザイナーなどのクリエイティブ職、NPO職員や公益財団職員などの非営利職に従事する入学者が増えています。「プロスポーツ選手・セカンドキャリア支援MBA奨学金」の開始を受け、プロスポーツ選手が入学する例も見られ、学生の多様性は急速に増しています。



## 進化し続けるグロービスMBA

昨今の社会変動は、AIやテクノロジーの進化など過去に例を見ないほど激しくなっています。同時にMZ世代の価値観の変化、キャリアの選択肢の増加、人生100年時代におけるリスクリングのニーズの高まりを背景に、ビジネスを学ぶ目的も多様化しています。それら多様な学びのニーズに対応するために、グロービス経営大学院は2025年度より従来のMBAプログラムを「TMBA」と「EMBA」の2つのプログラムに分け開講。2024年度から先行してトラックを設け、各プログラムの一部の科目を提供いたします。

詳細はこちら:<https://mba.globis.ac.jp/program/>





## TMBA・EMBAの開講背景と目的

### ■TMBA(テクノベートMBA)

グロービスは、1996年に日本初の本格的ハンズオン型のベンチャーキャピタルを創設し、多くのスタートアップ企業に投資・経営参画。今までに株式会社メルカリやスマートニュース株式会社等のユニコーン企業を輩出してきました。その経験からテクノロジーの急速な進化の影響を受け経営環境が劇的に変化していることを認識し、ヒト・モノ・カネにおける経営の定石に加え、テクノロジーの実装力やクリエイティビティを磨くカリキュラムが必要であると判断。2016年には「テクノロジー」と「イノベーション」を組み合わせ、『テクノベート』という造語をつくり(商標登録済み)、「デザイン思考と体験価値」「テクノベート・シンキング」等の科目をいち早く提供してきました。

今般、生成AIの爆発的な進化など、テクノロジーのますますの発展を鑑みて、科目群の提供のみならず、新たに「テクノベートMBA」プログラムを創設。更に科目を新規開発し、主に20・30歳代のビジネスパーソンに提供することを決定しました。

### ■EMBA(エグゼクティブMBA)

デジタルシフトや消費行動の変容など、これまでの前提を揺がす非連続な変化の中、経営の在り方やリーダーに求められる要件も刻々と変わりつつあります。また、人生100年時代において、一定のビジネス経験を積んだリーダー層の、リスクリングやアンラーニングへのニーズが高まっています。グロービスは、企業研修事業を通して6,700社以上に組織変革やDX推進、変革人材の育成を支援する中で、これらの環境変化に対応したプログラムを提供する必要性を認識しました。

そこで、世界では多くのビジネススクールが標準的に展開している「エグゼクティブMBA」を、職務経験が豊富なリーダー向け(40歳代以上)に立ち上げることにいたしました。本プログラムでは、激しい環境変化に適応するた

めの経営知と共に、テクノバート時代に合わせたリスキリング、社会の持続的発展に対する自らの役割を踏まえた志を育むカリキュラムを提供します。

グロービス経営大学院はこれからも、自らを進化させ続け、社会に創造と変革の志士を輩出して参ります。

## ◆グロービス経営大学院(日本語プログラム、英語プログラム)

グロービス経営大学院は、2006年の開学以来「能力開発」「人的ネットワークの構築」「志の醸成」を教育理念に掲げ、ビジネスの創造や社会の変革に挑戦する高い志を持ったリーダー輩出のために尽力しています。日本語MBAプログラムは、東京・大阪・名古屋・仙台・福岡・オンラインの6キャンパスに加え、水戸・横浜に特設キャンパスを開設。英語MBAプログラムは、パートタイム・フルタイム・オンラインを展開し、世界各国から多様な学生が集まっています。2006年開学当初78名だった入学者数は、2023年4月には日本語プログラムで1,068名に達し、日本最大のビジネススクール\*に成長。グロービス経営大学院は、今後も創造と変革を担うビジネスリーダーを育成し、テクノバート時代の世界No.1MBAを目指していきます。

\*参考:文部科学省「令和5年度専門職大学院一覧」

## ◆グロービス (<https://www.globis.co.jp>)

グロービスは1992年の設立来、「経営に関するヒト・カネ・チエの生態系を創り、社会の創造と変革を行う」ことをビジョンに掲げ、各種事業展開を進めてきました。「ヒト」の面では、学校法人としての「グロービス経営大学院」ならびに、株式会社立のスクール「グロービス・エグゼクティブ・スクール」「グロービス・マネジメント・スクール」、企業内研修事業を行うグロービス・コーポレート・エデュケーションとeラーニングやオンラインクラスのほか定額制動画学習サービス「GLOBIS 学び放題」などを提供するグロービス・デジタル・プラットフォーム、「カネ」の面では、ベンチャー企業への投資・育成を行うベンチャー・キャピタル「グロービス・キャピタル・パートナーズ」、「チエ」の面では、出版事業ならびにオウンドメディア「GLOBIS 学び放題×知見録」により、これを推進しています。さらに社会に対する創造と変革を促進するため、一般社団法人G1によるカンファレンス運営、一般財団法人KIBOW による震災復興支援および社会的インパクト投資を展開しています。

グロービス:

学校法人 グロービス経営大学院

・日本語(東京、大阪、名古屋、仙台、福岡、オンライン)／英語(東京、オンライン)

株式会社 グロービス

・グロービス・エグゼクティブ・スクール

・グロービス・マネジメント・スクール

・企業内研修

・出版／電子出版

・「GLOBIS 学び放題×知見録」／「GLOBIS Insights」

・「GLOBIS 学び放題」／「GLOBIS Unlimited」

株式会社 グロービス・キャピタル・パートナーズ

顧彼思(上海)企業管理諮詢有限公司

GLOBIS Asia Pacific Pte. Ltd.

GLOBIS Asia Campus Pte. Ltd.

GLOBIS Thailand Co. Ltd.

GLOBIS USA, Inc.

GLOBIS Europe BV

GLOBIS Manila Inc.

その他の活動:

- ・一般社団法人G1
- ・一般財団法人KIBOW
- ・株式会社茨城ロボッツ・スポーツエンターテインメント
- ・株式会社LuckyFM茨城放送

**【取材に関するお問い合わせ先】**

グロービス 広報室 担当:土橋涼

E-MAIL: [pr-info@globis.com](mailto:pr-info@globis.com)